



2024年5月10日

各 位

会社名 株式会社 七十七銀行
代表者名 取締役頭取 小林 英文
(コード番号 8341 東証プライム・札証)
問合せ先 総合企画部長 田辺 茂
(TEL 022-267-1111)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当行は、2024年5月10日開催の取締役会において、下記のとおり、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件につきましては、2024年6月27日開催予定の第140回定時株主総会において、ご提案申し上げる予定であります。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年11月10日公表)	前期実績
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株当たり配当金	67円50銭	55円00銭	50円00銭
配当金総額	5,042百万円	—	3,735百万円
効力発生日	2024年6月28日	—	2023年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当行は、銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、財務基盤の強化を前提として、累進的配当により、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2025年度までに35%以上に引き上げるとともに、機動的な自己株式取得により、株主利益と資本収益性の向上を目指していくこととしております。

上記の方針のもと、当期につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、1株当たり期末配当金を、2023年11月10日に公表しました配当予想から12円50銭の増配とし、67円50銭とすることといたしました。これによりまして、中間配当金を含めました当期の年間配当金は、1株当たり122円50銭となる予定であります。

また、次期の年間配当金につきましては、業績予想および配当性向を2025年度までに35%以上とする目標を踏まえ、1株当たり140円（うち中間配当金70円）を見込んでおります。

(注) 当行は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向について、2022年1月に策定いたしました株主還元方針において2023年度の目標を30%としておりましたほか、2023年11月に株主還元方針を見直し、2025年度までに35%以上に引き上げることとしております。

なお、当期の配当性向は30.4%となり、2023年度の目標を達成する予定であります。

引き続き、『Vision 2030』～未来を切り拓くリーディングカンパニー～に基づき、ステークホルダーの皆さまの期待に応える強固な財務基盤を構築し、適切な株主還元に取り組んでまいります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	55円00銭	67円50銭(予定)	122円50銭(予定)
前期実績 (2023年3月期)	40円00銭	50円00銭	90円00銭

以上